

◎平成18年度 進路 レポート



内定した4年生の就職活動発表会



キャリアセンター入り口

平成18年度 主な就職先(抜粋 50社)

(株)三菱東京UFJ銀行	25	岡崎信用金庫	3
(株)大垣共立銀行	10	オムロン(株)	3
第一生命保険相互会社	8	(株)ジェイティービートラベランド	3
あいち知多農業協同組合	7	瀬戸信用金庫	3
三井住友海上火災保険(株)	7	(株)第三銀行	3
リゾートトラスト(株)	7	大和証券(株)	3
全日本空輸(株)(客室乗務員)	6	知多信用金庫	3
東京海上日動火災保険(株)	6	東農信用金庫	3
日本生命保険相互会社	6	豊島(株)	3
積水ハウス(株)	5	トヨタファイナンス(株)	3
(株)セントラルファイナンス	5	豊通物流(株)	3
(株)名古屋銀行	5	名古屋市教育委員会(専任教員)	3
(株)愛知銀行	4	日旅サービス(株)	3
あいち尾東農業共同組合	4	日本通運(株)	3
(株)JALスカイ名古屋(グランドスタッフ)	4	日本特殊陶業(株)	3
タキヒヨー(株)	4	日本郵政公社(株)	3
大同興業(株)	4	(株)百五銀行	3
東新住建(株)	4	(株)日本航空(客室乗務員)	3
尾西信用金庫	4	(株)三重銀行	3
(株)平安閣(マリエール)	4	ユニー(株)	3
碧海信用金庫	4	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	2
(株)みずほ銀行	4	(株)INAX	2
リンナイ(株)	4	大垣信用金庫	2
愛知県教育委員会(専任教員)	3	近畿日本ツーリスト(株)	2
愛知県警察本部	3	岐阜信用金庫	2

(人)

愛知淑徳
大学

多くの学生が、大手企業を中心に
希望の企業等へ就職

さらに強まる
企業の採用意欲

景気は緩やかな安定成長の軌跡を保っており、団塊世代の大量退職の影響もあり、企業の採用意欲も昨年と比べ段と高くなりました。失われた10年といわれた就職氷河期から、本

学も本格的にキャリア教育に取り組み、1、2年生の低学年次から「人生の生き方」を中心としたキャリアデザイン講座を数多く開催し、大学生活をより充実したものにするために、どのような自己意識を持たなければいけないのかなど、自己の人生に対する

積極的な取り組みの教育を行ってきました。これらの取り組みにより、平成18年度も大手企業を中心に数多くの学生が希望の職業に就くことができました。

1、2年生次の取り組みが
就職を左右する

低学年次に自己の人生に対して前向きに、かつ積極的に取り組んできた学生は、就職活動においても、それまでに培ってきた素養を生かし、企業が求める人材像により近づくことができます。

企業が求める人材像とは、コミュニケーション能力、行動力、協調性、論理的思考力、熱意、ストレス耐性などであり、これらの能力の醸成は、かなりの部分1、2年生の取り組みによって培われるものです。3年次になると、就職活動のスキルを養い、いかに自分自身をうまく表現するかのテクニカルな要素が強くなります。本学でも、1、2年次のキャリア教育はもちろんのこと、この3年次のスキル教育、たとえば、エントリーシート・履歴書の書き方、個人面接・グループディスカッションの対応、メイク・マナー講習、筆記試験対策など、できる限りの講座はすべて行い学生のスキル能力の開発に力を入れています。

特に、個人面談では、キャリアカウンセラーの資格を持ったプロフェッショナルのアドバイザーが親身になって、就職についての悩み、また企業情報やエントリーシート・履歴書添削にアドバイザーを行っています。



内定した学生が後輩の相談を受ける
スチューデントアドバイザー制

大学のキャリア支援体制

大学のキャリアセンターは17人のスタッフが常駐し、そのうち8人がキャリアアドバイザーとして学生面談に

あたっています。同規模大学でこれほどのスタッフがいる大学も数少ないのではないのでしょうか。
各スタッフは、高い専門性と学生に対する暖かい真心で学生の希望する

進路への導きを支援しています。また、大学院進学などに対しても研究計画書の書き方など、様々な相談に応じています。
さらに、本学を卒業した学生の再

就職についても、企業から既卒学生の求人が数多く届いており、積極的な情報提供を行っています。
(キャリアセンター)

愛知淑徳 高等学校

文系・理系、国公立・私立と バランスの取れた進路状況に

愛知淑徳大学に 過去最多の217人が合格

2007年度入試が終わり、卒業生451人がそれぞれの進路へ果立っていきましました。今年度入試を振り返り、特徴的なことを述べてみたいと思います。

愛知淑徳大学への進学希望者は3

年連続で増加しました。内部推薦入試で143人、AO入試で4人、公募制推薦入試で11人、一般入試で54人、センター試験利用入試で5人と、合わせて217人が合格しました(過去最多)。文学部に新たに教育学科が設置されたこと、一般入試の中にセンターマルチ方式が導入され受験の機会が

増えたことが、合格者数の増加につながったと考えます。内部推薦希望者も、昨年の117人(高3生徒総数の28.2%)、昨年の112人(同29.3%)に対し、今年は143人(同31.7%)で、愛知淑徳大学の人気復調は定着しています。

進路希望が多様化 農・工・看護医療などへも

今年、文系・理系、国公立・私立

一方、理系でも医学部医学科に13人(国公立大学3人、私立大学10人)、薬学部には国公立大学3人を含む56人が合格しました。医・歯・薬の他にも農学部、工学部、看護医療系など、生徒の進路希望が多様化し裾野の広がりを感じます。合格者に占める現役の生徒の割合が圧倒的に高いことも今年の特徴と言えます(国公立大学81人の合格のうち70人が現役生です)。

今年の高3の生徒は、3年間皆勤

の生徒が56人(在籍者の1割を超える)いたことに象徴されるように、学校に目が向いている生徒が多く、クラブや行事など学校での生活や勉強を大切にしながら、進路でも良い結果を残していきましました。そんな生徒たちを誇らしく思うと共に、今後の淑徳の進路指導のあり方を考える時、ひとつの良い典型になっていくだろうと確信するものです。

国公立大学合格状況

大学名	2007	2006	2005
一橋大学	2	1	1
京都大学	2	2	1
奈良女子大学	2	4	2
名古屋大学	16	8	14
愛知教育大学	4	2	6
名古屋工業大学	4	1	4
名古屋市立大学	10	9	12
三重大学	9	7	6
岐阜大学	4	1	4

私立大学合格状況

大学名	2007	2006	2005
早稲田大学	12	13	18
慶應義塾大学	16	2	16
上智大学	8	12	15
明治大学	11	6	11
青山学院大学	10	10	7
中央大学	17	12	7
同志社大学	23	16	34
立命館大学	54	39	56
関西大学	9	6	3
愛知淑徳大学	217	162	198
南山大学	160	90	147

のバランスが取れ、全体として良い結果を出すことができました。国公立文系では、一橋大学法学部、京都大学法学部にそれぞれ2人合格した他、名古屋大学の文・教育・経済・情報文学部、化学部に合わせて7人、名古屋市立大学の人文社会・経済学部に合わせて6人の合格を見ました。私立文系でも、別表のように、健闘が著しかった一昨年に勝るとも劣らない結果を出しています。南山大学の合格者数160人は過去最多です。